墨田区のお知らせ2013.6.21　NO.1714（毎月1日・11日・21日発行）

すみだ

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

発行：墨田区（広報広聴担当）☎5608―1111代表　〒130―8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

●2面以降の主な内容
2面…京成押上線連続立体交差事業
3・4面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●夏至（今年は6月21日）

「日長きこと至る（きわまる）」という意味で、北半球では太陽の南中高度が一年で最も高くなるため、昼が長く、夜が短くなる。暦の上では夏の折り返しとなるが、本格的な暑さは梅雨明けとともにやってくる。

http://www.city.sumida.lg.jp/

暮らしやすいまちは人と人とのつながりから

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム

地域の様々な課題に対応するためには、人と人とのつながりを活かし、地域の中でお互いに支え合うことが大切です。区では、こうしたつながりを育み、地域福祉を充実させるため、「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を開催します。このフォーラムで、今、自分にできることを考え、活動を始めてみませんか。

学童クラブでの育成補助ボランティア活動（左上）、見守りが必要な方のお宅に伺う「戸別訪問」活動（右上）、地域の外国人に日本語を教えるボランティア活動（下）など、様々な活動から人のつながりと笑顔が生まれます

人と人とのつながりが温かいまちを創ります

高齢者の孤立化や災害への対策等、地域の課題に対応するには、そこに暮らす人々が日ごろから声を掛け合うとともに、町会・自治会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、区等と協力し、地域内で助け合うことが大切です。人と人とのつながりを大切にし、互いに支え合うことで、誰もが安心して暮らせる地域にしようという考え方が「地域福祉」です。

この「地域福祉」の実現のカギとなるつながりを生むきっかけの一つが、ボランティア活動です。活動の形は様々ですが、そこで生まれる人と人とのつながりが、地域の中で互いに支え合う風土を育みます。区では、ボランティア活動に携わる人と関心を持つ人とをつなげることで、ボランティア活動の輪を広げ、地域福祉をさらに充実させるため、「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を開催します。会場では、ボランティア活動の様々な形などについて参加者同士が話し合う分科会や、すみだで活躍中のボランティア団体による展示を行います。このフォーラムに参加し、ボランティア活動の魅力に触れ、みんなで温かいまちを創っていきましょう。

［問合せ］▶厚生課厚生係☎5608－1163・FAX5608－6403　▶すみだボランティアセンター☎3612－2940・FAX3612－2944

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム　7月6日（土）午後1時～5時　＊開場は正午

ところ　すみだリバーサイドホール2階イベントホール（区役所に併設）

内容　▶基調講演「人がつながれば何かが変わる」（講師／神戸市社会福祉協議会　長谷部 治氏）＝午後1時10分～2時40分　▶分科会（テーマは右に記載）＝午後3時10分～4時40分　＊そのほか、福祉・区民活動・環境・教育など、区内で活動するボランティア団体の紹介、ボランティア募集を行う「活動紹介コーナー」もあり　**入場料**　無料　**申込み**　希望する分科会のテーマ、氏名を電話または、ファクスで6月28日までに問合せ先へ　＊当日会場でも申込可　＊手話通訳、1歳～就学前の子どもの一時保育を希望する場合は電話番号、子どもの年齢（一時保育希望者のみ）も問合せ先へ　＊区ホームページから電子申請も可

■分科会のテーマ

- ▶被災後の生活をともにつむぐ〝石巻 牡鹿半島にて〟
- ▶銭湯でつながる地域の和〝お湯も人情もアツいくらいがいい〟
- ▶経営者が求める3つのこと〝ここが知りたい！「つながるチカラ」〟
- ▶ふじのきさん家 ひきふね寄合い処〝地域防災力や絆を強める居場所づくり〟
- ▶みんなで育てる地域プラザ〝誰もが楽しめる居場所をめざして〟
- ▶「多文化共生社会」の実現にむけて〝日本語ボランティア教室を通して〟
- ▶小さな気づきが大きな力に〝あたりまえの支えあい活動〟

〝互いの顔が見えるまち〟にしたいですね

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム実行委員
区内の地域福祉施設「興望館」の職員
五十嵐 美奈さん

ボランティア活動というと、〝特別なこと〟と構えてしまいますが、例えば、お隣の家の電球の交換を手伝ったり、一人暮らしの高齢者の見守りをしたりといった、ちょっとした助け合いや世話焼きも立派なボランティア活動なんですよ。みんなが顔見知りで、地域に暮らす人と人とのつながりが豊かだと、何かあったときに助け合うことができるし、防犯面でも安心して暮らすことができます。〝互いの顔が見える〟、そんな素敵なまちにしていきたいですね。

ボランティア活動は〝自分のため〟になります

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム企画委員
大川千明さん（立花一丁目在住）
福永将也さん（亀沢三丁目在住）

ボランティア活動は〝誰かのため〟というイメージだったのですが、世代や立場の違う人と話す中で自分の世界が広がったり、仲間ができたりする楽しさがあり、〝自分のため〟にもなるということを知りました。

また、いろんな分野のボランティア活動があるので、〝やりたいこと〟が見つからないと思っている方も、まずは一歩踏み出していろんな体験をしてみることが、〝やりたいこと〟に出会うきっかけになると思いますよ。